

(学年) 第3学年、(教科・科目) 地歴科・世界史A

協働学習

(単元) 近代のヨーロッパ・アメリカと世界の変動

第5章 19世紀の世界の一体化と日本

第7節 東アジアの変容と日本の近代化

アヘン戦争の衝撃

(本時のねらい)

19世紀前半のアジア諸国と欧米諸国の動向を相互に関連付け、東アジアの変容を多面的・多角的に考察する。

(ICT活用方法)

授業の「導入」と「まとめ」の時間に一人一台端末を使用してクイズ形式の質問を行い、その正解率を電子黒板に投影する。また、電子黒板を使用して写真や地図などの資料を投影し、生徒の思考力を高める。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>19世紀前半の日本の動向について、知識を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本史Aとの関連性を指摘し、関心を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一台端末を使用してクイズ形式の質問を行い、その正解率を電子黒板に投影する【コラボレーションプラットフォーム】。</li> </ul>
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> <li>アヘン戦争に至るイギリスとの関わりについて確認する。</li> <li>アヘン戦争の経緯及び影響について確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由貿易における利益追求の手法について考えさせる。</li> <li>欧米列強が軍事的に進出し、強制的に世界分業体制に組みこもうとしたことを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アヘンの薬害及び銀の国外流失について、画像や統計資料を電子黒板に投影して説明する。</li> <li>欧米との軍事力の格差や南京条約の内容について、画像や地図を電子黒板に投影して確認する。</li> </ul>
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のまとめを聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テストを実施し学習の内容を再確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一台端末を使用してクイズ形式の質問を行い、その正解率を電子黒板に投影する【コラボレーションプラットフォーム】。</li> </ul>

(授業の様子)



1. 天保の改革を推進した老中是谁ですか。(0 点数)

経歴

● 松平 定信	10
● 徳川 吉宗	3
● 水野 忠邦	19



2. 1825年に異国船打払令を出す契機となった事件は何か。(0 点数)

経歴

● シーボルト事件	2
● フェートン号事件	11
● サンフェリペ号事件	19



3. ナイチンゲールが誕生する前の出来事を選びなさい。(0 点数)

経歴

● ペリが満洲に参航	15
● 大塩平八郎の乱	6
● アメリカの独立戦争	11



(生徒の反応と課題、改善を要する点)

質問の正解率を瞬時に電子黒板に投影することは、生徒の知識の定着度合いを把握して補足説明ができるとともに、生徒自身が主体的に授業に取り組む態度を促すことに効果的だった。